

山梨大学大学院医工農学総合教育部（博士課程）における学位論文評価基準

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準
4年博士課程	医学専攻	<p>医学専攻における博士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の論文審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマの設定 論文のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
3年博士課程	ヒューマンヘルスケア学専攻	<p>ヒューマンヘルスケア学専攻における博士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の論文審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマの設定 論文のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
	工学専攻 システム統合工学コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準	
3年博士 課程	工学専攻	エネルギー物質科学 コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		環境社会システム学 コース	<p>次の各号の評価基準に基づき学位論文等を審査する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文等のテーマの設定 論文等のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文等の論理性 研究成果が論文等のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文等の記述と構成 論文等の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文等が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
	統合応用 生命科学 専攻	生命農学コース	<p>統合応用生命科学専攻生命農学コースにおける博士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>課題設定：論文のテーマが、ワイン醸造学、応用微生物学、食品科学及び植物学に関連する学問分野に関すること。学術的意義及び新規性を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性：研究目的から結論に至るまでの論理展開が一貫性、整合性を保っていること。法令あるいは倫理指針の対象となる研究については、該当する法令あるいは指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> <li>論文の記述と構成：論文全体が論理的で明解な文章で記述されており、その研究成果の分析と考察が適切であること。</li> <li>論文の意義：学術的に新規あるいは独創的な内容を含むこと。ワインなどの食品製造、創薬、環境保全等に应用することで地域産業の活性化に貢献する可能性があること。</li> </ol>

大学院医工農総合教育部		学位論文に係る評価基準	
3年博士 課程	統合応用 生命科学 専攻	生命医科学コース	<p>統合応用生命科学専攻生命医科学コースにおける博士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の論文審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>論文のテーマの設定 論文のテーマが、学術的意義、新規性及び当該分野に関する貢献を有するよう適切に設定されていること。</li> <li>論文の論理性 研究成果が論文のテーマに沿っており、論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>論文の記述と構成 論文の記述と構成が適切かつ体系的であり、その研究結果の分析と考察が整合性を持つこと。</li> <li>研究の倫理 国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文等からの剽窃がないこと。</li> </ol>
		生命工学コース	<p>統合応用生命科学専攻生命農学コースにおける博士論文審査は、ディプロマポリシーに基づき、主査1名及び副査2名以上の審査委員会により、以下の基準を踏まえて総合的に行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学術的意義・新規性・創造性 <ul style="list-style-type: none"> <li>学位論文の研究目的に学術的意義があり、当該分野の学術の進展に貢献するものであること。</li> <li>学位論文の研究成果に新規性及び創造性が認められること。</li> <li>学位論文の題目が研究目的及び研究成果を的確に表したものであること。</li> </ul> </li> <li>論文の論理性 <ul style="list-style-type: none"> <li>学位論文の研究成果が研究目的に沿ったものであること。</li> <li>論文の構成が適切かつ体系的であり、論文の記述に論理の一貫性が保たれていること。</li> <li>緒言において、研究の背景、当該分野の研究の現状と問題点・課題、学位論文の研究目的と学術的意義が明確に記述されていること。</li> <li>研究結果の分析・解釈が科学的に適切になされており、考察が論理的に記述されていること。</li> <li>研究結果として得られた知見、あるいは著者の主張が、実験データなどのエビデンスでサポートされたものであること。</li> <li>学位論文の研究目的と結論に整合性があること。</li> </ul> </li> <li>研究の倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>国の倫理指針の対象となる研究については、該当する指針に基づいて実施されていること。</li> <li>論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。</li> <li>他者の論文からの剽窃がないこと。</li> <li>学位論文を構成する既報論文が、査読体制に疑義があり、当該分野の科学コミュニティが評価しない学術誌に掲載されたものでないこと。</li> </ul> </li> </ol>